

視覚障がい者と盲導犬の 幸せな毎日のために

街で盲導犬ユーザーに出会ったことはありますか？テレビなどで知っていても、盲導犬はまだまだ珍しい存在です。日本盲導犬協会では、目の見えない方・見えにくい方が安全に行きたい場所に出掛けられるよう、盲導犬の育成を行っています。中国・四国地方の拠点である島根あさひ訓練センターでは、現在10数頭を育成中。広島市内での訓練に同行し、盲導犬のお仕事について教えていただきました。

(公財)日本盲導犬協会
島根あさひ訓練センター
普及推進部リーダー
佐々木 重紀さん

盲導犬のこと、
何でも気軽に
聞いてください！



{ ユーザーの環境を考えながら 日々訓練！ }

ハーネス(盲導犬が体につけている胴輪)を通して「角を教える」「段差を教える」「障害物を教える」。この3つが盲導犬の基本となる仕事です。毎日の訓練では、街中で車や人などに動揺することなく歩行し、同時に訓練士は訓練犬の性格も見極めていきます。



段差を教える
階段の上りは一段上がったところで止まり、段差を知らせます。盲導犬ユーザーは頭で目的地までの地図を描きながら盲導犬に指示を出し、盲導犬は角や段差をユーザーに伝えることで、安全に目的地まで導きます。



盲導犬は
褒めて育てる！
が基本です

島根あさひ訓練センター
訓練士 中村 春菜さん



角を教える

盲導犬は向きを変えて止まることで、そこが角であることをユーザーに伝えます。それによりユーザーは現在地を把握します。



信号の手前では必ずストップ。ユーザーは音や気配で信号が変わったことを認識し、「ストリートコー」と指示を出します。



障害物を教える
通行人や看板など大きな障害物がある時はぶつからないよう誘導。盲導犬自身が通れる隙間でも人が通れないと判断したところは自ら避けます。人通りの多いところも同じ要領で難く通過します。



Point!



ハーネスも機能的に進化

盲導犬の動きをユーザーに伝えるのが、盲導犬が身につけているハーネスの役目。長い間U字型が使われていましたが、現在では「バーハンドル型ハーネス」に改良され、より使いやすく安全に歩行できるようになりました。

Check 訓練士のお仕事

訓練士は盲導犬だけに向き合う仕事ではありません。パートナーとなる盲導犬ユーザーとのコミュニケーションも大事な仕事。ユーザーの生活環境や盲導犬との相性を見極め、盲導犬貸与後には定期的にフォローアップも実施します。ユーザーの笑顔に出会えた時には何よりやりがいを感じられます。



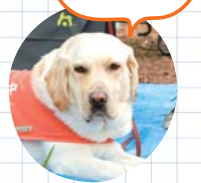
訓練士の声かけで、まずは排泄を済ませてから訓練に出発します。

「盲導犬をもっと身近に！」盲導犬体験イベントも開催中



「ろうきん森の学校フェスティバル」でも、盲導犬体験を実施しています。▶3~4ページで「ろうきん森の学校フェスティバル」をご紹介します。

ボク達に
会いに来てね!



盲導犬訓練士のキャリアチェンジのひとつが盲導犬普及に役立つPR犬。盲導犬に直接触れることはできませんが、ハーネスをつけていない状態のPR犬ならOK! 随時開催しているイベントで気軽に触れ合ってみて。

中国・四国地方唯一の盲導犬訓練センター。広島市街地にて日々訓練中!

現在、日本では約1,000頭の盲導犬が活躍中。盲導犬は、指定施設で訓練を受けた身体障がい者補助犬として定められています。島根あさひ訓練センターは公益財団法人日本盲導犬協会の中国・四国地方唯一の盲導犬訓練センターとして、2008年10月に開設しました。盲導犬候補の子犬は、生後2カ月間は母犬のそばで過ごし、1歳になるまでの約10カ月は、子犬飼育ボランティア(パピーウォーカー)の元で育ちます。その後、訓練犬としてセンターに戻り、約1年間、訓練士のもとで基本訓練を

行い、盲導犬に向いていると判断されると目の不自由な方(盲導犬ユーザー)と共同訓練を行い、10歳まで盲導犬として過ごします。島根あさひ訓練センターでは訓練犬を広島市内で育成。現在も約15頭を5名の訓練士が担当し、日々の訓練に励んでいます。けれども、訓練犬のうち盲導犬となるのは4割ほど。活発すぎるなどの理由で盲導犬に向かないと判断された犬は「キャリアチェンジ犬」として、一般家庭のペットかPR犬になるなどさまざまな道が拓かれます。

私たちにできることもあります!

盲導犬育成の費用のうち約9割は寄付によって支えられていて、ユーザーには無償で提供されています。〈ろうきん〉では、タメ・タメ・ハのポイント利用で気軽に盲導犬育成支援への寄付ができます。また、訓練に入る前の子犬を育てるパピーウォーカーや、盲導犬に向いていないと判断された「キャリアチェンジ犬」、盲導犬としての現役を終えた「引退犬」を受入れる家庭を飼育ボランティアとして随時募集しています。

ボランティアについて、くわしくは右記の日本盲導犬協会ホームページをご覧ください。

街で出会ったら、基本はそっと見守って。信号などで判断を迷っている姿を見たら「お手伝いできることがありますか?」と声をかけましょう。



取材協力/公益財団法人日本盲導犬協会
島根あさひ訓練センター
〒697-0426 島根県浜田市旭町丸原155-15
TEL:0855-45-8311 (平日 9:30~17:30)
<https://www.moudouken.net/center/shimane/>